

<b>エトキシスルフロン・クロメブロップ・トリアファモン・フェントラザミド粒剤</b> <b>ドリフ1キロ粒剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> バイエル <b>原体メーカー：</b> バイエル, バイエル, バイエル, バイエル
<b>成分：</b> エトキシスルフロン〔スルホニルウレア系〕……0.17% クロメブロップ〔フェノキシ酸系〕……………4.5% トリアファモン〔スルホンアニリド系〕……………0.40% フェントラザミド〔テトラゾリノン系 PRTR・1種〕…2.0%	<b>性状：</b> 淡褐色細粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

## 【品目特性】 ……………

- 高葉齢のノビエに卓効を示す新規成分トリアファモン配合の一発処理除草剤。
- コナギ、アゼナなどのスルホニルウレア抵抗性雑草にも効果を示す。
- コウキヤガラ、クログワイ、オモダカなどの多年生雑草に高い除草効果と塊茎形成抑制効果を示し、次年の発生を減らすことができる。
- キシウスズメノヒエやイボクサなどの特殊雑草にも効果を示す。
- 水稲に対する選択性が高く、田植同時散布が可能。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

## 【使用上のポイント】 ……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するようにする。

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ	3葉期まで
ミズガヤツリ	草丈15cm まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前～再生始期
オモダカ	発生前～発生始期まで
クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
キシウスズメノヒエ	再生始期まで

- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせる使用する。

## 【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（水稲）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわいなす、たまねぎ、さやえんどう）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 薬害を生じのおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎ及びさやえんどうを栽培しない。

## 【安全対策上の注意】 ……………

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので、付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 藻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



【適用と使用方法】 .....

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	移植時	1 kg	田植同時散布機 で施用	1 回 ※
	セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ キシウスズメノヒエ	移植直後～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで			
直播水稻	一年生雑草 ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで			

※エトキシスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内  
 ※クロメクロップを含む農薬の総使用回数：2回以内  
 ※トリアファモンを含む農薬の総使用回数：2回以内  
 ※フェントラザミドを含む農薬の総使用回数：1回